

令和元年2月12日

国立大学図書館協会
会員館 図書館長 殿

宇都宮大学附属図書館長
池田 幸 【公印省略】

令和元年度関東甲信越地区国立大学図書館協会研修会の開催について（通知）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

関東甲信越地区国立大学図書館協会主催の図書館職員研修会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、参加者を募集いたしますので、別紙「実施要項」をご確認の上、お申し込みくださいますようお願いいたします。

<問い合わせ先>

宇都宮大学附属図書館（担当 押田）

E-mail： tossoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

TEL： 028-649-5136

令和元年度関東甲信越地区国立大学図書館職員研修会 実施要項

1. テーマ「地域の知の拠点としての大学図書館」

2. 趣旨

国立大学図書館協会ビジョン 2020 には、「社会に開かれた知の創出・共有空間の提供」が目標の一つに掲げられている。従来多くの国立大学図書館は地域に対しても開かれ、図書の貸出等を行ってきたが、そこから一歩進んで地域の知の拠点として何が出来るのか考える必要がある。そこで本研修会では、基調講演及びグループワークを通じて、これからの大学図書館と社会との連携の在り方について検討し、情報を共有する。

3. 日時

2020年3月3日(火) 13:30~17:00 (13:00 受付開始)

※閉会後に宇都宮大学附属図書館の見学を予定しております。(希望者のみ)

4. 会場

宇都宮大学 UU プラザ 2 階コミュニティフロア

5.

主催：関東甲信越地区国立大学図書館協会

共催：宇都宮大学附属図書館

企画：関東甲信越地区国立大学図書館協会研修企画委員

※本研修会は、国立大学図書館協会の地区助成事業の一環として開催いたします。

6. 日程

13:00~13:30 受付

13:30~13:40 開会

13:40~15:00 基調講演

15:00~15:10 質疑応答

15:10~15:20 休憩

15:20~16:20 グループワーク

16:20~16:50 発表

16:50~17:00 まとめ、閉会

17:00~17:30 図書館見学(希望者)

7. 基調講演

講師：簗田 理香（宇都宮大学地域連携コーディネーター/特任准教授）

テーマ： 地域メディアの「在来知」を集めて編む拠点として

～保存、活用、創出への手がかりを考える～

概要：地域の現場では、地方創生の文脈の中で、また、さまざまな課題を抱える地域の活性化に資するものとして、行政・民間を問わず、有料販売・無料配布を問わず、さまざまなメディアが制作されるようになっていきます。全国メディアの目が届かないところで拾い上げられる、地域の人々の情報や生活文化や日々の営みの記録が、今まさに進行形で「地域で動いている」ものごととして掲載される紙媒体も多く存在しています。まさに「地域資源」と呼ぶべき草の根的な地域メディアは、もっと広く「活用」されうる可能性をもっているのではないのでしょうか？ 収集、保存、共有、活用、そして新たな創出というプロセスの拠点として、国立大学の図書館の可能性を考えてみたいと思います。

8. 参加対象者・定員

大学及び研究機関に所属する教職員 30名程度

※応募者多数の場合は調整させていただきます。

9. 申込み

以下のフォームをダウンロードしてご記入の上、下記メールアドレスへ送付ください。

（締切：2月25日（火））

<http://www.lib.utsunomiya-u.ac.jp/kensyu.html>

提出先 tossoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

10. お問い合わせ先

宇都宮大学附属図書館（担当：押田）

e-mail：tossoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

Tel：028-649-5136